

## 4. 親切作文

---

親切会60周年を記念して、市内の小学4年生から6年生までの児童を対象に、日頃感じている「親切」をテーマに、作文を募集しました。応募された作文を紹介します。

---

## 心が温かくなった

館小学校 4年 梨本 紗良

---

みなさんは親切にしてもらって、心が温かくなったことはありますか？私はたくさんあります。たくさん親切にもらった中で、一番心が温かくなった親切についてしょうかいします。

それは、転んでしまった時に友達がほけん室まで連れていってくれたことです。転んで足から血がでて、痛くてなかなか歩けなくて、困っていた時に、

「大丈夫？ほけん室まで行こうか？」

と心配して手をかしてくれたので、とても助かりました。そして、いままでにないくらい心が温かくなりました。なので、他の人が転んでこまっていたら助けてあげようと思いました。みなさんもだれかが転んで困っていたら、ぜひ助けてあげてください。きっと相手も心が温かくなると思います。

だれかに親切にすると、自分にも親切がかえってきます。私はだれかに親切にすると、ああやってよかったなど自分も心が温かくなりました。でもやっぱり意しきして親切にするより、意しきしなくても自然に親切ができる人になりたいと思いました。

---

## 親切は、されてもしてもいい気持ち

由木西小学校 4年 根釜 心花

---

親切は、されたらとても気持ちがいい。親切は、してもいい気持ち。それはうれしい気分になったり、よろこんだりするから。親切は、ちょっとしたことでも、身近なことでも、よろこんでもらったら、いい気持ちになる。

親切にされた時のことを思い出してみた。ある日の給食準備。休みの友達が台ふき当番だった。だから、だれも台ふきをする人がいなかった。私がやろうと思っていたら、友達に声をかけられた。

「やってあげる。」

親切にされたら、こんなうれしい気持ちになるんだと思いながら

「ありがとう。」

と言った。次は、友達や家族などに親切にして、いい気持ちにしたいなと思った。

それから少したったある日の給食の時間。またお休みの人がいた。友達に親切にされたお返しに、次は自分が親切にしようと思った。休んだ友達のかわりに、はいぜん台を出した。すると、友達は「ありがとう。」

と言ってくれた。その時、親切にされるだけでなく、親切にしてもいい気持ちになるんだなと思った。

やさしい気持ちをもって相手の事を考えると、自然に親切ができる。やさしい気持ちをもって、これからも、だれにでも親切にしようと思う。

---

## みんなの住む、まちのため

南大沢小学校 4年 山崎 陽菜乃

---

私の小学校には、毎朝、門で登校を見守ってくださるおはよう隊の方がたがいる。

ある日の帰り道、そのおはよう隊のおじさんが、ボランティアのゴミ袋を持ち、道のゴミを拾ってくれている姿を見た。最初はあまり気にしていなかったが、母が「いつもきれいにしてくださり、ありがとうございます。」と声をかけていて、「そうか、おじさんは、私たちが住む街をきれいにしてくれているんだ。ありがたいな。」と思うようになった。

それから、あらためて登下校の道を見してみると、植木の中におかしの袋や、排水溝にタバコのすいがら等が捨てられていることに気がついた。

年に数回クリーンデーに参加したことはあったが、自分だけでゴミ拾いをしたことはなかった。母に「私も街のゴミ拾いをしたい。」と相談し、市役所でボランティアのゴミ袋をもらい、ゴミ拾い用のトングを2本買った。

さっそく、母と登下校中にゴミ拾いをした。中には、だれかの食べかけのゴミや、よごれているゴミもあって、少しいやな気持ちになった。しかし、拾っているうちに「ゴミ拾いをしてくれてありがとう。」と声をかけてくれる人もいて、寒い日でも心が温かくなった。

ゴミを見つけて袋に入れるのが日に日に楽しくなってきた。母と「お宝ゲーム」と言って、ゴミをお宝に見たてて、どちらが沢山お宝をゲットできるか競争した。ゴミ袋がいっぱいになるとうれしくなった。

八王子市はゴミ排出量が少ないランキングで1位だが、家の前の公園は毎朝、ゴミがちらかっているのが残念だと思う。ゴミを捨てる人がへってほしいと思うと共に、ゴミ拾いを通じて、ありがとうと言われて、うれしくなったり、知らぬ間にゴミ拾いをしてきている人に感謝をしたり、人の役に立てたり、人の心を思いやるのが親切なのかなと思った。

---

## その一言と行動で、

第八小学校 5年 小林 紗知

---

私の考える親切とは、親切にされた相手が嬉しかったり気持ちが良くなったりすることだと考えます。なぜかというとし、けがをして痛くて歩くことができないとき、友達に心配されて嫌な気持ちになる人はいないでしょう。

以前、私がおにごっこをしていたとき、ぬかるんでいる校庭を歩いた足でコンクリートの道を歩いたせいか、コンクリートの道がすべりやすくなっていました。ですが、私はそれに気がつかず、すべって転んでしまいました。コンクリートの道で転んでしまったため、足がじんじんと痛くて歩くための力もありませんでした。そのとき、友達が脇から手をとおして、私をたたせて、肩を組んで支えてくれました。また、「大丈夫。」や「がんばれ。もう少しだよ。」と声をかけてくれました。私は足が痛いことを忘れてしまうほど嬉しくて涙がこぼれそうになりました。

ですが、もし友達がたすけていなかったら、私は痛くて歩けないので保健室にも行くことはできなかったでしょう。そのあとは想像すらできません。きっと悲しくて残酷な気持ちでしょう。友達が親切をするだけで、こんなにも気持ちが変わります。

私は、この体験で親切は、優しい言葉と行動だと考えました。なので、これからは私は友達に親切をしたり、友達がやっている親切を見つけていこうと思いました。

---

## 親切にするためには

館小学校 5年 樋口 開

---

みなさんはどんな時に親切だなと感じますか。ぼくは、何かをやってくれた時や、はげましてくれた時など、たくさん親切と感じた時があります。

その時はとてもうれしかったです。けど、親切にされすぎた時は、「特別扱い」されている気がして、少しいやな気分になりました。

こんなふうに、少しやな気分になった時もありましたが、うれしかったことの方が多いので、これからも色々な人に親切にしたいと思います。なので、「親切」はどんなことか、どうしたら親切と感じてくれるかを考えてみました。

ぼくは、親切は、した方の立場は、相手が喜ぶことを考え、その考えたことをすることだと思います。

そして、された方の立場は、うれしくなること。その理由は、手伝ってくれたり、はげましてくれたからだと思います。けど、した方が人がこう思っても、された方が人がそう思わないと親切とは言えないと思います。

次に、どうしたら親切と感じてくれるか考えてみました。やっぱり、手伝ってくれた時や、はげましてくれた時だと思います。そして、これは、だいたいの人がこう思っていると思うので、はげましたり、手伝ってあげることがしたいと思います。けどやりすぎるといけないので、相手のことを考えながら、親切にしてあげたいと思います。

みなさんは人に親切にするためにはどのようなことをすればいいと思いますか。ぼくは、簡単にいうと、自分がうれしいと思うことを、他の人にすればよいと思います。

---

## 私の中の親切とは

城山小学校 5年 浅香 柚希奈

---

親切とは、ふだんの生活の中で相手の手助けをする事だと思います。私は、ボランティアの方々は、とてもすごいと思います。なぜなら無償にもかからわず私達の登下校を見守ってくださっているからです。

私が2年生のころ学校にちこくしそうになってしまい、走って横断歩道をわたっていたら、ボランティアの方に呼び止められ、「危ないから気をつけてね。行ってらっしゃい。」と声をかけてもらいました。それからはなるべく早く家を出るようになり、そして信号のない横断歩道は、気をつけてゆっくりわたるようになりました。これからも、ボランティアのおじさん、おばさんが言ったことをよく聞き、わすれないうようにし、事故にあわないようにしたいです。そして、ボランティアのおじさん、おばさんが元気だと私も元気になり、今日からまたがんばろうという気持ちになります。

私はこの経験をもとにしょうらい、ボランティアの方のように、親切な心を持って人助けをしたいです。

---

## 優しい行動

城山小学校 5年 江上 奈那

---

親切とはしてもされても気持ちの良い事だと思います。

私は親切の意味を調べました。

意味は「思いやりがあること、人のために何かをすること」たしかに親切な人はこういうことを当たり前のようにするなと思いました。

時々ですが、私も親切にする時があります。その時に、「ありがとう」と言われると心が温かくなりこの人に親切にして良かったなと思います。逆に親切にされた時には、優しい人だなと思ったり、なんでこの人は何にも知らない人にこんな尽くせるのだろうと疑問に思うこともありました。親切は、知らない近くにいる人だけじゃなくて家族や身近な人にやるのも良いと思います。普段一緒にいるから相手のことを知っているかもしれないけど親切にすると更に相手のことを知れると思いました。

親切は日常の中で自然にやっていることなのかなと思います。

私はこの作文を書き、親切を今まで以上にやろうと改めて思いました。

---

## 人それぞれの親切

川口小学校 5年 西田 奏海

---

私にとって親切とは、むずかしいものであり、人を喜ばせることができるものでもあります。

私は、以前、友達が、

「おなかがいたい。」

と言っていたので、

「保けん室に行こう。」

と言い、友達を保けん室に連れて行こうとしたことがあります。すると、その友達に、

「いい。」

と言われてしまいました。その時私は、良かれと思ったことが相手にとっては、「めいわく」になることもあるんだと気付きました。それから、友達の手助けをする時に、「これは本当に親切なのかな。」「相手が喜んでくれるのかな。」と考えるようになりました。それとは反対に親切で人を喜ばせることができることにも気が付きました。以前バスでおじいさんに席をゆずった時に、

「ありがとう。」

と笑顔でお礼を言われたことがあります。その時、私は、うれしくて思わず、笑顔になりました。

だから私にとって親切とは、むずかしいことであり、人を喜ばせることができるものでもあると思います。相手にとってこれは本当に親切なのかを考え、積極的に親切な行動をしていきたいです。

---

## わたしの親切

川口小学校 5年 堀江 華加

---

わたしは、今でも心に残っている親切にされた出来事があります。

習字の日、私は習字道具を忘れてしまいました。隣のクラスの人に借りに行こうとしたとき、隣のクラスは授業が始まろうとしていました。私は入りづらくて、廊下をうろちよろしていました。するとある女の子が

「どうしたの。」

と声をかけてくれました。事情を説明して、習字道具を貸してもらいました。その時私も、こんな人になりたいなと思いました。

わたしが考える「親切」な行動とは、相手がありがとうと思える行動です。親切にするとき大切なことは、相手にデメリットがないことだと考えています。なぜなら、相手にデメリットがあると逆に迷惑をかけてしまうからです。

これから、相手に迷惑がかからないかよく考えてから、親切にしてくれた人のように人助けをしたいです。

---

## 困ってる人がいたら親切にしよう

川口小学校 5年 山田 理央

---

わたしは、今でも心に残っている親切にされた出来事があります。

私が3歳の時、家族とお出かけに行ったら迷子になってしまいました。ある夫婦がわたしが迷子になっていると分かって、迷子センターに連れて行ってくれました。おかげでわたしは、無事、家族と再会することができたのです。今では、見ず知らずの人に親切にできるなんて、すてきな夫婦だなと思います。

わたしが考える「親切」とは、自分もありがとうという気持ちになり、相手も親切にして良かったなどと思う行動です。そのため相手の気持ちや言い方を考えることが親切にするとき大切なことだと思います。

これから困っている人がいたら、親切にしたいです。そしてそのとき、ちゃんと言葉を考えてから言うようにしていきたいです。

---

## 広がっていく親切な心

由木西小学校 5年 小林 倅太

---

5年生の2学期、階段掃除をしていた時だった。ある友達が、「ほうきを片付けようか？」

と言って、ぼくのほうきを片付けてくれた。その時、ぼくの心の中が、とても温かくなった。ぼくは、「とてもやさしいな。」と、心の中で感じた。また、次は自分がいろいろな人に親切にする番だと思った。なぜなら、ぼくが感じた心の中の温もりをいろいろな人達にも感じてほしかったからだ。

そういった出来事があった数日後。ぼくがバスで学校から帰った時のことである。お年寄りのおばあちゃんがいたので、自分が座っていた席をおばあちゃんに、

「どうぞ。」

と言って、ゆずってあげた。そしたら、おばあちゃんが、

「ありがとう。やさしい子だね。」

と言ってくれた。ぼくは、おばあちゃんが席に座れてよかったと思った。また、「早速、親切にできた。」と思って、とても嬉しい気持ちになった。



ぼくが思う親切とは、親切をした方も、された方も、心が温かくなることだと思う。親切をした方は、相手に喜んでもらえて、何だか自分も嬉しくなるし、親切をされた方は、「次は自分が親切にしよう。」と思えてくると思った。親切をくり返し行うことで、いろいろな人達の心が明るくなるはずだ。「次は自分が親切にしていこう。」と思う心が広がっていけばいいなと思う。

---

## 「親切」について

館小学校 6年 盛岡 寿喜

---

ぼくは、親切について考えてみました。ぼくは、親切に出来た事も、出来なかった事も両方ともあります。

まずは親切に出来た事です。ぼくが3年生の頃、じゅくに行き始めました。そこへはバスで行く事もありました。ぼくはその時に、お年寄りに席をゆずってあげる事ができました。

次に、親切に出来なかった事です。同じようにバスに乗っている時、席をゆずってあげる事ができませんでした。どうして同じ事なのに、出来た日と出来なかった日があったのだろうと考えてみました。それは、出来る日は、自分の心に少しだけ、よゆうができ、勇気を出せたからだと思います。逆に、出来なかった日は、はずかしくて、思い切って勇気を出す事が出来なかったからだと思いました。そう考えると、親切というのはちょっとした勇気を出すか、出さないかで違ってくるのだと思います。これからは勇気を出して、親切に出来る日を多くしたいです。

お母さんからは、「人に親切にすれば、相手も自分に返してくれる」と言われています。おたがいに、「勇気」と「ありがとう」の気持ちをもって、「親切の交かん」が出来ればけんかやいじめも無くなると思います。

ぼくは、残りの小学校生活だけではなく、大人になっても、親切の交かんを続けたいです。そして、けんかやいじめが無くなるようにと願っています。

---

## 友達からの思いやり

城山小学校 6年 小野寺 和真

---

僕は昔から、思いやりとは何だろうと、つくづく疑問に思ったことがあります。いくら考えてもその答えは思いつきませんでした。僕にその答えとなる出来事が起こりました。

週に一度、学校で委員会があり、帰りがおそくなることが多々ありました。だからそんな時のために、いつも帰りのしたくは済ませておくようしていました。しかし、その日は授業の終わる時間がおくれ、急いで委員会に行ったため、帰りのしたくが出来ませんでした。そして委員会が終わり、僕は帰りがおそくなることが悔しくなりました。その後自分の教室の戻ると、なんと帰りのしたくが終わっていました。ランドセルを見るとランドセルの上に紙が置いてありました。その紙には帰りのしたく終わらせておいたよとよく見たことのある字で書いてありました。僕は誰が書いたのか考えました。すると、いつもよくいっしょに遊んでいる友達の字でした。その時僕は、友達が僕のためにしてくれたことが嬉しく、あたたかい気持ちになりました。

僕は、相手のことを思いやる気持ちが親切だと思い、友達が困っていたら助け、思いやり、協力していきたいです。

---

## 私を感じた親切

城山小学校 6年 小俣 優有

---

私は、習い事の帰り道にバスに乗っていました。するとバスのななめ前の席の人のスマホがなっている事に気付いて、声をかけようかまよっていたら、となりの席の人が気付いて声をかけていて、私はその人の事をとても「すごいな。」と思いました。

日常で、自分から進んで人のために行動をできる人は恐らく、自分もそういった親切を受けた事があるから、その親切を進んでできるんだと思います。

それと、自分から進んで親切ができるようになると、自分もうれしく感じたり、相手もうれしい気持ちになれると思いました。

私も今から人のために勇気をもって行動したり、相手の気持ちを考えて行動したりできるように、人とたくさん関わりをもてる大人になりたいです。

## ありがとうの一言で

由木西小学校 6年 湊 陽子

みなさん、「ありがとう」と言われるのは好きですか。私は「ありがとう」と言われるのが大好きです。ものをあげた時に言われる「ありがとう。」手伝った時に言われる「ありがとう」親切にした時に言われる「ありがとう」などいろいろな「ありがとう」があります。その中でも私は親切にした時に言われる「ありがとう」が一番大好きです。その中でも特に「ありがとう」と言われてうれしかったことを紹介します。

1つ目は中休みなどにみんながそうじをしていないところをして先生などに「ありがとう」と言われてうれしかったです。みんながやらないところをきれいにして良かったなと思いました。

2つ目は教室を移動する時、みんなが通りやすくなるようにとびらを開けたり自分が一番に理科室や図書室に入ったら窓を開けたり暖房をつけて部屋を暖かくなどほかのみんなが過ごしやすいうように、小さいことをした時に言われる「ありがとう」もうれしいです。

3つ目は習っているバレーボールでみんなが練習しやすいようにボールをわたしたり、監督がトスをあげやすいようボールを移動させたりなど学校以外の人に言われる「ありがとう」もうれしいです。

私はみんなのためにボールを拾ったり、部屋を暖かくした分「ありがとう」と言われて毎回やって良かったなと思います。友達だけではなく、いろんな人に「ありがとう」と言われるようにみんなに親切にしたいです。

---

## 手助け

南大沢小学校 6年 神谷 ひまり

---

私は、友達に助けてもらったことがあります。

私が、週番の時に班の子が全員休んでしまって一人で仕事をやることになり大変だと思いました。けれど、友達が「手伝うよ」と声をかけてくれました。私は、友達に声をかけてもらえてすごくうれしかったです。その後、友達のおかげで最後までスムーズに仕事を終わらせることができました。友達のその一言で私はうれしくなったし助けられて親切って相手も笑顔になれてすごくいいことだと感じました。

私が友達を手伝ってあげた時に友達から、「ありがとう」と言ってもらえました。私は、「ありがとう」という言葉が好きです。その一言で相手も自分もうれしくなるので友達から言われた時はすごくうれしかったです。

私は、おたがいに手助けし合い協力してやる事によってみんなが笑顔になるので助け合うことは大事だと思いました。

---

## 親切のお礼

松木小学校 6年 本間 小雪

---

親切ってなんだろうと考えた時、私にとっての親切は私達の周りに当たり前のようであってだれかを笑顔にすることができればそれはすべて親切なのだと思う。

私はつい最近、迷子の子を見つけた。

私は助けてあげようかなと思ったけど急いでいてそんな余裕もなかったし、そこは人通りも多く目の前には交番もあるからきっと大丈夫だと思ったため、一度通り過ぎた。

でもやっぱり私は心配になり振り返ってみた。するとその子は地べたに座りこんでしまっていた。そう、だれも助けてくれていなかったのだ。このままではきっとずっと一人だろうと思った私は声をかけてみることにした。

色々話を聞くと、1時間近く親とはなれているそうで、そのために周りに親らしき人も見当たらないから交番に届けることにした。交番に行くと迷子の子の母親を見つけた。私は急いで交番を出たが母親はお礼を言っていて私はちょっとほころしかった。

でも次は私が助けられることとなったのだった。

私は手を骨折してしまい、靴紐も1人では結べなくとも不便で困っていた。いつもはスリッポンをはいていたのだが今日は間違えて紐靴をはいてきてしまい紐はどんどんゆるくなっていき、とうとう紐はほどけてしまった。私は塾にいたからだれかに頼めばよかったのだけど人に頼む勇気もなくお願いできなかった。でも、紐がほどけている事に気付いた先生が紐を結んでくれたのだ。

親切は人にやった分自分にも返ってくる、だから人にしてもらった分自分も親切にするべきなのだと思う。親切は私達の周りに当たり前のようにある。だから私はこれからもたくさんの人達に親切にしていきたいと思いました。

